

『第 11 回若手技術者・研究者による技術研究発表会』

今年で第 11 回を迎える日本写真測量学会関西支部主催の若手技術者・研究者による技術研究発表会は、空間情報の計測・基礎から応用にわたる 15 件のさまざまなテーマで構成されたプログラムとなっています。発表会では、同支部役員による審査によって優れた発表を「優秀研究発表賞」として表彰します。発表会終了後の懇親会にて表彰式を行いますので、どうぞ併せてご参加ください。

日時・場所： 平成 27 年 9 月 25 日（金）10:00~17:00 常翔学園・大阪センター 301 室

プログラム：

10:00~10:10 開会のあいさつ（日本写真測量学会関西支部 支部長）

セッション 1 「都市」（司会：山下 恵）

10:10~10:30 レンタサイクル利用者の経路選択と走行環境に関する研究

灘 弘貴（大阪工業大学大学院）

10:30~10:50 X バンド多偏波 SAR 画像を用いた都市域抽出手法の開発

岸本 将明（京都大学大学院）

10:50~11:10 空間構成要素に着目した街路イメージの把握

伊藤 潤（大阪工業大学大学院）

11:10~11:30 ヒートアイランド対策での活用を前提とした透水面分布の空間特性に関する分析

植松 恒（摂南大学大学院）

11:30~11:50 ソーシャルメディアを活用した駅周辺環境の分析

三井佑真（大阪工業大学大学院）

昼休憩（11:50~13:00）

セッション 2 「景観分析」（司会：名草 一成）

13:00~13:20 奈良における変遷景観の把握

中司 涼介（大阪工業大学大学院）

13:20~13:40 地上レーザスキャナを用いた緑視率の推定手法の開発

脇田 拓周（京都大学大学院）

13:40~14:00 都心部における夜間景観のモデル化

櫻木俊輔（大阪工業大学大学院）

休憩（10 分）

- セッション3 「ロケーションサービス」 (司会：内田 修)
- 14:10~14:30 多時期のALOS/PRISMトリプレット画像を用いた地上点座標の高精度推定
岸本秀真 (京都大学大学院)
- 14:30~14:50 車両走行ビッグデータを用いたデジタル道路地図の位置ずれ自動補正手法に関する研究
久保田 誠也 (京都大学大学院)
- 14:50~15:10 現在地安全性確認と安否連絡のための防災アプリの開発
田中宏明 (兵庫県立大学大学院)
- 休憩 (10分)
- セッション4 「社会での実践」 (司会：須崎 純一)
- 15:20~15:40 連続撮影画像から生成した三次元モデルの災害時における活用効果の検討
関根 なつみ (株式会社パスコ)
- 15:40~16:00 最小二乗マッチングを用いた鋼材コア抜き時の解放ひずみ計測
若木 伸也 (株式会社ズームスケープ)
- 16:00~16:20 GISデータフォーマットにおける現在の問題提起と未来の可能性
坂野尚吾 (株式会社かんこう)
- 16:20~16:40 MMSを用いた道路閉塞のおそれのある建築物の抽出
遠藤弘隆 (株式会社パスコ)
- 16:40~16:50 閉会のあいさつ (日本写真測量学会関西支部 副支部長)
- 17:00~ 優秀発表賞表彰式および懇親会 (於：ラウンジ翔)

以上